

## 平成26年度 第1回 射水市防災会議議事録

1 日 時 平成26年8月22日(金) 13:30～14:30

2 場 所 射水市役所小杉庁舎 303・304会議室

3 出席委員 31名(35名中)

### 4 議事内容

#### (1) 開会

・配布資料の確認

#### (2) 市長あいさつ(省略)

#### (3) 出席委員について事務局から報告

・委員35名中、31名の出席があり、本会議が成立している旨の報告

#### (4) 議題

事務局から、会長が議事進行を行う旨の報告

報告第1号 平成25年度射水市防災対策事業について

資料1

報告第2号 平成26年度射水市防災対策事業について

資料2

【夏野会長】報告第1号と報告第2号について、一括して説明を求める。

【事務局】(説明内容の詳細は省略)

・平成25年度に実施した射水市防災対策事業の報告と、平成26年度の射水市防災対策事業について説明。

【夏野会長】ただいまの事務局から説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】平成26年度に実施した防災パトロールの参加者及び組織等について教えていただきたい。

【事務局】防災パトロールでは、市の応急対策の中心となる都市整備部、上下水道部、消防本部等が参集し、近年被害が発生した箇所及び危険箇所等を現地にて確認すると共に今後の対応等の情報の共有化を図った。

【委員】平成25年度に開催した県防災パトロールには、県職員も参加し危険箇所等の共通認識を行ったところであるが、他の市町村においては、市の防災パトロール等に県職員が参加し、互いに情報共有を行っている。次年度以降、射水市においても県職員の参加を検討していただきたい。

【事務局】翌年度以降の事業実施に反映させていきたい。

【委員】平成26年度に衛星携帯電話を購入するようであるが、どこに配備するのか。県においても、高岡厚生センターと射水支所に配備され、月1回情報伝達訓練を行っている。関係機関の連携を図るためにも、教えていただきたい。

【事務局】防災担当である総務課で管理しており、電話等での連絡ができない場合に備え機動的に活用したいと考えている。

【委員】大門大島雨水幹線整備事業に着手されているが、工事の完成予定及び完成後にはどのくらい被害が軽減されるのか。

【事務局】近年、局地的な大雨等で二口地区及び小島地区において道路冠水、床下浸水等の被害が起きている。これらの対策の柱として、本工事に着手した。国の

補助事業でもあることから、期間については流動的であるが、5～6年程度で完成予定であり、大きな効果があると考えている。

報告第3号 原子力災害広域避難受入施設について

資料3

報告第4号 射水市防災行政無線の整備方針について

資料4

資料5

【夏野会長】報告第3号と第4号について、一括して説明を求める。

【事務局】(説明内容の詳細は省略)

- ・ 氷見市UPZ(原子力施設より30km)圏内住民の広域避難の受入施設について説明した。
- ・ 平成28年度開局予定の射水市防災行政無線の整備方針について説明した。

【夏野会長】ただいまの事務局から説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】太閤山ランドには県内外から多くの観光者が訪れるが、当該施設への屋外拡声子局の設置は検討されているのか。

【事務局】太閤山ランド及び海王丸パークについては、観光者が訪れることから、緊急放送を受信する個別受信機を配備し、当該施設の放送と連動させ、施設全体に緊急放送を流すことを検討している。

【委員】高岡市の牧野地区や庄川左岸等において、射水市と高岡市が近接している。緊急情報等を伝達する際において、他市の情報を聞き取る可能性も有し、市域間での情報の時差も考えられるが、隣接市町村との連携はどのように考えているか。

【事務局】隣接している高岡市及び富山市については災害時の相互応援協定を締結している。市域間での情報の時差等については、現在においても、雨水対策等において連絡を取り合っており、防災行政無線の運用についても、緊密な連携を図り対応いたしたい。

【委員】防災行政無線は聞き取りにくいということをよく聞く。特に屋内では聞き取りにくい、その対応についてはどうか。

【事務局】現在、27の地域振興会に出向き、防災行政無線の概要を説明し、地域のご意見をお聞きしているが、防災行政無線の音声は聞き取りにくい、特に屋内では聞こえにくいというご意見を多く聞いている。屋外拡声子局で聞き取りにくい所については、携帯電話の緊急速報メール並びにFMラジオを活用した割込み放送等、様々な媒体を活用し、正確で確実な情報伝達に努めたい。

【夏野会長】戸別受信機は購入を希望する方に配布するのか。

【事務局】現在のところ戸別受信機の配布は考えていない。戸別受信機に代わる手段として、携帯電話のメール機能の活用、FMラジオの割込み放送等を計画している。FMラジオを活用した防災ラジオの有償配布等も検討していきたい。

【夏野会長】防災ラジオについては今後の検討課題だと考えている。無償での防災ラジオの配布は難しいと考えている。

【夏野会長】審議第1号について、一括して説明を求める。

【事務局】指定緊急避難場所及び指定避難所の指定について説明した。

【夏野会長】ただいまの事務局から説明について、ご意見、ご質問はないか。

(意見なし)

【夏野会長】原案のとおり、指定を行っていく。また、地域防災計画について修正作業を行っていく。

(4) その他

(なし)

(5) 閉会

【事務局】以上をもって、射水市防災会議を終了する。

長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。

以上